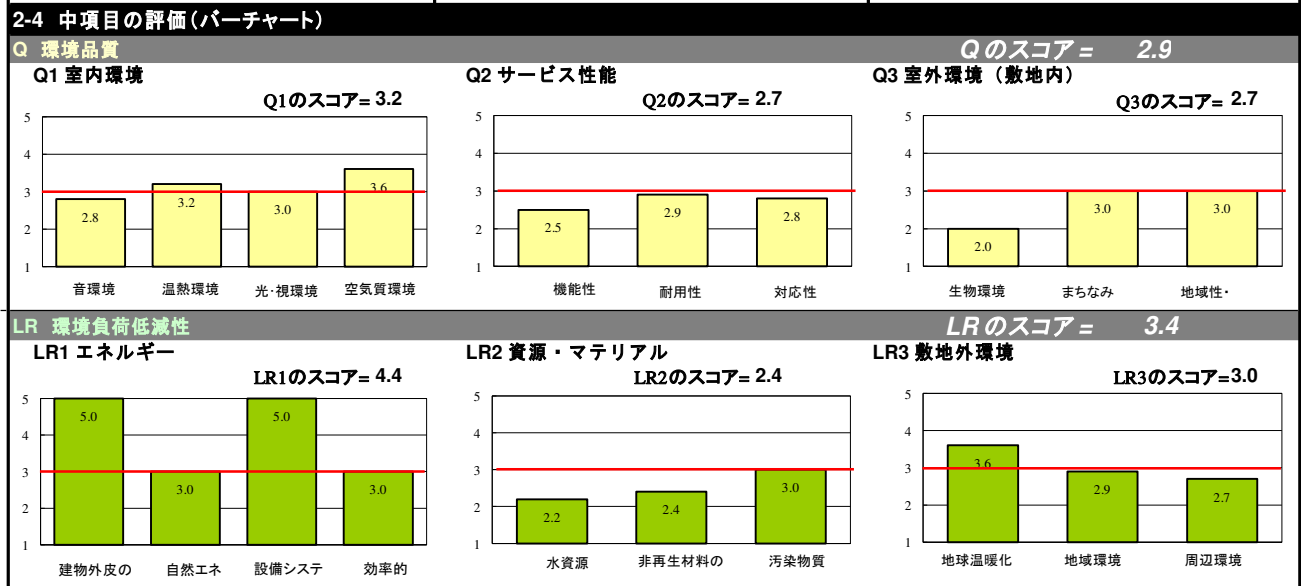
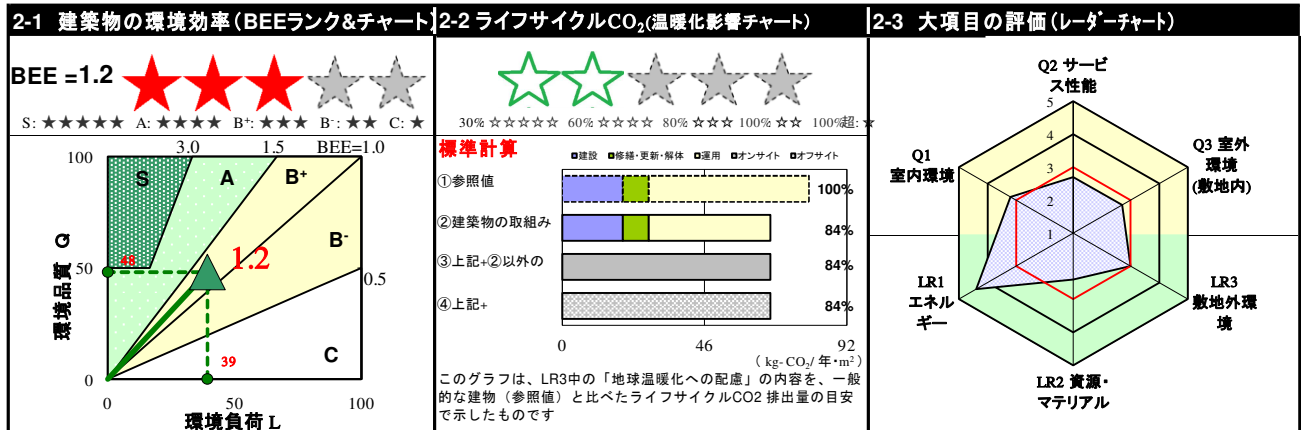


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市北園町PJ 新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府高槻市北園町	構造	RC造
用途地域	埋蔵文化財包蔵地(北園遺跡)、下	平均居住人員	88 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年12月20日
敷地面積	1,051 m ²	作成者	永谷 万寿美
建築面積	515 m ²	確認日	2024年12月20日
延床面積	2,205 m ²	確認者	永谷 万寿美



3 設計上の配慮事項		
総合 断熱等性能等級で等級4以上の取得など行い、付加価値を設けた。		その他 特に無し
Q1 室内環境 特に無し	Q2 サービス性能 給排水配管の主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用とした。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー 断熱等性能等級で等級4以上を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特に無し	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)高槻市北園町PJ 新築工事					
建設地		大阪府高槻市北園町					
用途／区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分				5	
④	エネルギー消費性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分				3	
		評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
項目		評価内容				スコア	評価
① CO2削減		CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮				3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	
③ 断熱性能		CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				5.0	5
④ エネルギー消費性能		CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							